



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会
TOKYOTO DOHO ENGOKAI

同援だより

2020年 秋季号 (185号)

新しい福祉サービスへ

常務理事 中島 昭



昨年度末から現在まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に追われる毎日でした。
法人では各施設に対して、二月二十五日に「新型コロナウイルス（コロナウイルス）への対応」を發出し、九月二日付「新型コロナウイルス感染症への対応（Vol.1）」まで十二回にわたって感染症拡大防止への各種対応をお願いしてきました。

この間、当法人の施設においては、約三〇〇〇人の利用者及び約一七〇〇人の職員から一人の感染者も出しておりません。職員の努力に深く敬意を表すとともに、利用者並びにご家族のご協力に厚く感謝申し上げます。

去る六月に開催された理事会及び定時評議員会において、令和元年度事業報告及び決算が承認されました。介護や医療の人材不足の中で、その確保のための投資や高齢施設全体の稼働低迷などにより、法人全体の令和元年度当期活動増減差額は黒字を確保したものの前年度と比較して大幅な減少となる決算内容となりました。特に昭島病院については、地域ニーズに沿った紹介患者の受入れなどにより収益は増加したものの、病床稼働率八〇%を目標とした人件費や電子カルテシステム導入に伴う減価償却費や保守料の増加などによる大幅な費用増により、六年連続の赤字決算となりました。ただ、第4四半期に限れば黒字となっており、赤字脱却の兆しが見えてきたのもつかの間、四月以降はコロナ禍の影響で外来患者が大幅に減少し、収支改善の歩みが停滞しています。

収益事業としてサンライズ青山跡地に建築した集合賃貸住宅は、五月十八日に竣工し同月二十五日に引渡しを受けました。既に全十三戸が入居済みで、管理会社との契約に基づき、八月二十六日から家賃収入が入金されています。これを利用者サービスの向上や職員の定着を図るために有効に活用してまいります。

働き甲斐のある職場づくりについては、給与制度の抜本的な見直しを図るため、六月から「給与PT」を立ち上げました。その中では、職員の働き甲斐を維持しながらも将来的には人件費を適正な水準に保つことを目指して検討を進め、今年度中に結論を得たいと考えています。

今後冬期に向かって、コロナウイルス感染症の第二波、第三波が予想される中で事業運営を継続するためには、不断の創意工夫が求められます。法人としては、新たな福祉サービスの確立に向けて総力を挙げてまいり所存です。職員、利用者及びご家族の皆様には、今まで大変なご苦労をお願いしてきたところですが、今後とも更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

新任評議員挨拶



田中 康道

このたび評議員に就任いたしました田中と申します。就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、新型コロナ禍、日々、多大な緊張感のなかで業務にあたっていらっしゃる皆様のご労苦に対し心より敬意を表します。一日も早く収束し、普通の生活に戻るよう願っています。

さて、私こと、過日、評議員に選任していただき大変光栄に感じていますが、知識経験ともに浅いことから、東京都同胞援護会のご期待に応えられるか、若干不安な気持ちもあります。このため皆様のご支援を賜りな

がら誠実に役目を果たしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

話は少し変わりますが、私は、現在、対面での相談は避ける等、かなり限られた対応になっていますが、地域のボランティア活動に携わっています。

主に安否確認の声掛けや見守り、生活支援のための聞き取り、各種手当の申請等に関わる調査といったものを行っています。

そしてこうした活動を通じて、様々な支援を必要とされる方が、かなりいらっしゃると感じました。

また、これまで地域との付き合いがほとんど無かった方も、加齢による衰えや身近な方の入院等で生じた生活面での不安を少しでも和らげるために、身近なところでの見守りや声掛けを相談されるケースも増えています。

便利な時代ですが、反面、地域の中で人と人との関係性が、ますます希薄化し、あまり深入りや詮索をしない傾向にあります。

このため、プライバシーを尊重しつつ「住み慣れた地域の中で、安心して、少しでも長く暮らし続けて欲しい」との思いを持って活動しています。

乳幼児から高齢者、そして障害を持つ方への支援等、幅広い分野で事業展開をされ、真に必要なサービスを提供されている本会の活動に大いに期待をしております。

微力ではありますが、地域福祉の向上に向けて、関わっていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

このたび当会評議員を退任されるに当たり、これまでのご功労に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございます。



比留間評議員のご退任に当たって

比留間由真 評議員には、本会の重要事項の議決機関である評議員会の委員として、平成二十二年十月から九年八ヶ月の長きに亘り、当会の的確な運営に多大のご尽力をいただきました。

ご就任中には、社会福祉法人制度の大きな改革が行われる中で、新規収益事業の拡大など、当会が着実に事業を展開するための財務基盤をより強固なものとする上で多大な功績を上げられました。また施設所在地の東村山市と本会との絆がより強固なものとなるよう、陰になり日向になり様々なご援助をいただきました。

このたび当会評議員を退任されるに当たり、これまでのご功労に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございます。

新任 挨拶



つつじが丘保育園
園長
堀川 裕子

今年度四月より、つつじが丘保育園の園長を務めさせていただきますことになりました。就任のお話をいただき、私に務まるかという不安な思いが非常にあり、慣れ親しんだつつじが丘保育園で園長としてスタートさせて指導する環境であることが、背中を押しだすきっかけとなりました。

昭和郷第二保育園で実習をさせていただき、その後入職し、二年間、勤続二十年と、いろいろな節目の年を迎え、振り返ると、この二十五年からつづきが丘保育園勤務の節目が多岐にわたる中、皆様からご指導いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。また、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。

今年度、さまざまな感染症の予防対策や、保育士自身の健康管理や、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。

今年度、さまざまな感染症の予防対策や、保育士自身の健康管理や、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。



昭和郷第二保育園
園長
清水 淳子

この四月に副園長を経て、昭和郷第二保育園園長に就任致しました。着任早々、コロナウィルス感染症で、子どもたちの活動が制限されている中、先ず、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。

今年度、さまざまな感染症の予防対策や、保育士自身の健康管理や、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。

今年度、さまざまな感染症の予防対策や、保育士自身の健康管理や、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。

今年度、さまざまな感染症の予防対策や、保育士自身の健康管理や、業務改善の観点から、日々の業務に携わる中、安全安心な保育環境を整えること、職員間の連携強化を図ること、保育士の業務負担軽減を図ること、保護者の皆様と協力して、子どもたちの成長を支援すること、など、さまざまな課題を御託にお話させていただきます。



同援みどり保育園
副園長
堂園 昌美

令和二年度四月より、同援みどり保育園の副園長に就任致しました。私にとっては、身にある重責ですが、これまでの経験を活かしていきたいです。また、常に学びの気持ちを忘れずに、多くの事を吸収し日々成長していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症拡大により、現在の保育園では「新しい生活様式」を基に保育を進めています。今まで当たり前に行っていた活動も制限される事が多く、職員間で話し合い、工夫をしながら取り組んでいます。子どもや保護者の方にも協力して頂く事が多い中で、本来の「保育」とは少しかけ離れてしまっている所もあります。その反面、「当たり前」だった保育を見直すきっかけにもなり、保育の内容や行事の意味等も、改めて考えていくようにしました。

時代や環境の変化と共に、保育の進め方も変わっていくと感じながら、子ども達にしてあげられる事は何かを職員と一緒に考えていきたいと思っております。

また、私自身も仕事と育児の両立をしていく中で、保護者の気持ちを理解できる反面、子育て中の職員の気持ちも汲み取る事ができると考えています。働きやすい職場作りを念頭に、園長・職員と共に良い保育園を築き上げていきたいです。



同援さくら保育園
副園長
清水 尚美

四月より同援さくら保育園の副園長を務めさせていただきますことになりました。副園長という責任の重さを強く感じております。

子どもが好きで保育士になりました。今までは、小さい頃の夢が現実になり、二十数年保育士として働いてきました。その中で縁があり、同援さくら保育園で勤務し、一年目となりました。延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育など様々な保育形態を行っている園で、最初は業務を覚えることに精一杯でした。子ども達の笑顔に励まされ、園長をはじめ、諸先輩方のご指導の元、頑張っていた日々を思い出します。同援さくら保育園では「子どもに寄り添う保育」を大切にしています。利用者のニーズに配慮すると共に、子ども達が何を思っているのか、気持ちに寄り添いながら、安心安全な保育が提供できるように努力していきます。

このコロナ禍では保育という現場の中で、新しい生活様式を取り入れる事の難しさを感じています。今更に取り組んできた園内行事や地域支援などの継続が困難という壁に直面しています。大切にしたいものを継承し、若手職員に育てていく事を承知して、引き続き頑張ります。このような様々な課題がありますが、試行錯誤しながら学んでいきたいと思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。

同 援 だ よ り



さやま園
副園長

柿木 崇

四月からさやま園副園長に就任いたしました。平成十年から小茂根福祉園で十九年間支援員として働き、その後さやま園で主任として勤めて参りました。

小茂根福祉園では障害のある方との接し方や介助技術など様々なことを諸先輩から教えていただきました。いまでも利用者支援をする上で大切な基本となっております。さやま園では九十六名の利用者が入所されています。利用者の毎日の生活を守るには職員間の協力が欠かせません。これからも職員と共に、考え学ぶ姿勢を大切に利用者支援の向上に努めて参ります。

今年には新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、命を守る使命の重さを今まで以上に痛感しています。また職員から相談を受ける内容も変わり、身の引き締まる思いでおります。不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。



豊島区西部
障害支援センター
副所長

加川 勝己

この度、豊島区西部障害支援センターの副所長に就任いたしました。当センターには、昨年の十一月に赴任をし、小規模ながら豊島区障害福祉課の委託の窓口として、地域の皆様とお顔を合わせながらサービスのご相談を受けさせていただいております。法人の職員としては、長らく知的障害のある方の通所施設の支援者として従事しており、毎日通っている利用者の皆様の支援に邁進しております。現在は心機一転、地域の障害福祉サービスを必要としている方々に分かりやすい説明とスムーズなお手続きで安心できる地域生活を支えていく役割を担っております。

障害種別や等級、また、地域によっても適応になるサービスが異なるため、制度上の高い専門性が求められると同時に個人情報への配慮も必要になります。プレッシャーはありますが、「とても分かりやすかったです。」「来て安心しました。」等のお言葉をいただいた時は、大きな充実感が得られる瞬間でもあります。今後とも、地域における安心できる場として発展していきたいように全力を注いでまいります。



事業局
局長

佐藤 貴実男

令和二年四月一日より事業局長を拝命しました佐藤と申します。同胞援護会で働かせていただき三十年余お世話になっております。これからは御恩返しと思ひ、微力ではありますが次の世代に繋げていけるよう努力してまいります。

前任の梶原氏とは営業職として同時入局し、二人三脚で事業局の運営に貢献させていただいたと思っております。梶原氏自身、体力・気力ともまだまだ働ける年齢にもかかわらず、私の為に退いてくださったものと感謝しております。

入局以来三人の局長に仕えてまいりました。皆が口を揃えて申しますのは「私たちがこうして事業を続けていられるのは本部の方々と各施設の方々にご支援とご協力を賜っておかげ」と何度も同じ話を聞かされました。今私が事業局の代理経営を任せられるようになって、前任者諸氏の気持ちがいっぱいになります。この謝の念でいっぱいになります。この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。これからもご協力いただき、さらにご指導とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。私の就任挨拶とさせていただきます。



事務局
企画部課長

宮崎 明美

この度、事務局企画部課長を拝命いたしました。このように大役を任せつきました。責任の重大さは身に引き締まる思いです。微力ではございますが、本会事業の発展に精一杯務めさせていただきます。

私の所属する「企画部」の組織規程による所掌事務は、事業計画と報告、予算と決算、経理及び財産管理です。入職から三年の施設での事務職を経て本部の担当になった時、この大きな所掌事務にどう向き合えばいいのか思考をめぐらせていました。新しい計画を実践するために正確な数字をまとめる速やかな報告をする。そして大切な資産を守りさらなる事業展開のために資金も蓄える必要がある。加えて法人の最重要拠点である病院の安定した経営を継続しなければならぬ。そのためには社会情勢や国が決める公定価格を見据え、方向性を定める事が重要な視点となります。そして今後も地域のニーズに的確に対応するための新たな投資や福祉療育の充実を備え、本会の安定的な経営を持続し、社会福祉法人も資産を生かすため、本会では企画部で企画立案した収益事業が新たに始まり、経営の充実を目指しています。このことからさらなる投資に向けた力を、今までも長く本会の運営の担い手として活用し、新しい本会経営の発展に寄与致します。今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

退 任 挨拶



つつじが丘保育園
前園長
石井 好子

昭和五十五年より同援にお世話になりました。四十年前の昭和郷は、どの施設も時を経た趣のある建物で独特の雰囲気がありました。一年目に勤めた昭和郷第二保育園は洋裁学校だった建物ということで、保育室には大きな黒板があり、学校のように広々として伸び伸び保育していたように思います。就職したばかりの頃は五年間勤まれば良いと思っていました。次第に保育がおもしろくなり失敗と反省の毎日でしたが、やりがいがあり、子どもたちの喜ぶ顔がうれしくて夢中で勤め続けることが出来ました。

保育園も今は九園となり、建て替えや新園開設と次々に拡大し法人の強さを感じます。

大きな法人で働くことは、守られていた安心感もありましたが、常に責任の重圧がありました。

私のようなものが今まで勤めさせて頂けたのは、環境に恵まれていたからだと思えます。困ったことがあれば、すぐに相談できる先輩方が近くにいたこと。何か起これば、法人本部の方々が指示して下さいましたこと。園内では職員の方々が一緒に悩み、考え、動き、楽しい雰囲気の中で勤められたこと。

お世話になった関係機関の皆様、講師の方々、建物、設備、備品など関係業者の皆様には保育園運営に支障のないよう迅速、丁寧に対応して下さい感謝しています。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

四十年勤続し、定年退職できたことはとても幸せなことです。園長として力のない私を、これまで指導して下さいました方々、一緒に働いて下さった皆様、本当にありがとうございます。

今、大変な状況の中、福祉施設に関わる皆様は日々ご苦労が絶えないことと思えます。保育も行事など計画通りにいかず、制限の多い環境で子どもたちのために努力されていると思えます。心配なく子どもたちとふれあい、楽しめる日が来ますように。

皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。



昭和郷第二保育園
前園長
折居千恵子

子ども達の元気と笑顔に包まれ、約四十一年間勤務した東京都同胞援護会を三月三十一日付で退職致しました。振り返りますと本当にたくさん嬉しいこと、大変なことがありました。多くの方に支えて頂き続けることが出来ました。

昭和五十年に就職した時には昭島市に同胞援護会の保育園は昭和郷保育園だけでした。古い木造の建物でしたが子ども達の為に工夫された環境が随所に見受けられ、今は亡き吉村愛子園長の子どもの実践に感銘を受けたのを覚えています。その後、専業主婦生活を経験し、再度お誘いを頂き、昭和郷第二保育園に勤務致しました。モンテッソーリ教育や、福祉を改めて学び保育園のキーワードは愛と夢と未来を創造する広場という考えに至り、仕事に活かしてききました。

平成八年に異動したむさしの乳児保育園では職員皆で乳児保育を考え法人内の処遇問題研究発表会に「三つ子の魂百までも」で参加、大変でしたが良い経験となりました。むさしの保育園に飾られている山脇百合

子氏の絵はその記念です。平成九年に園長に任命され同援みどり保育園勤務となり、その後つつじが丘保育園、昭和郷第二保育園に勤務しました。

平成十五年には地域の育児支援も保育園という流れの中、昭島の同援保育園三園共催で地域育児支援「音楽朗読劇と小さな音楽会」を市民会館大ホールで開催し、この縁で近藤浩章氏につつじが丘保育園の園歌を作曲して頂きました。

最後の昭和郷第二保育園では建て替えに携わらせて頂きました。旧園舎（元 済美洋裁学校）のお別れ会に卒園児や保護者、洋裁学校の卒業生、地域の方々にお越し頂けたことは新園舎の竣工とともに何よりも嬉しい出来事でした。

これも同胞援護会と歴代の施設長方の積み重ねのおかげです。そして今、ウィズコロナ時代の新しい保育という言葉が紙面に、今までの普通を見直す時なのではないでしょうか。次の時代を担う子ども達が健やかに育つ支援を願います。

最後に元気をくれた子ども達や力不足の私を支えて下さった皆様「本当にありがとうございます。」感謝の気持ちでいっぱいです。東京都同胞援護会の益々の発展をお祈り致します。

同 援 だ よ り



事業局
前局長

梶原 和人

残暑のなか、新型コロナウイルス感染症に対し、利用者の安全に万全を期し対応努力されている法人施設の皆様にお見舞い申し上げます。

このコロナのせいで定年退職者の式典も、法人本部の方と退職者だけと成り、小さな割にめだちたがり屋の私にとっても寂しい式でした。ただ考えを変れば今迄に無い特別な形式では有りました。永年の飲酒の習慣がたり、かなり怪しく成った記憶の中で、凡そ半世紀前の社会科の授業で先生が、西暦二〇〇〇年には皆さんは四十才に成っています。と言われた事ははつきりと覚えています。当時はそんなおじさん想像も出来ませんでした。それを二十年も経て還暦、定年。本当にうっかりと馬鹿を重ねてしまいました。

三十年前、縁あって事業局に入局しました。当時、事業局は法人内ではかなり特異な施設で、人的交流はもとより、法人税も単独で神田税務署に申告・納税をしており、法人本部を訪ねる時は、

別の会社を訪ねる程の心持ちでありました。平成十三年に局長職を拝命し、施設長会議に出席する様に成りましたが、今正直に申し上げますと、福祉事業とは無縁の印刷屋の話しを会議の中でどの様に表現しようか苦悩した事が思いおこされます。法人とのかかわりで転機と成ったのは、五十年史の作成でした。各施設の方々と同援の歴史をひもとき、長時間寄り集まって編集作業をした事で、完成した本を手にした喜びを分かち合うことが出来ました。訂正シールを編集委員の皆さんと貼った思い出が今でも忘れられません。

その後事業局もたくさんの方の助けを頂き、介護用品事業、物品販売事業と、事業の幅を広げ、法人施設の皆さんには大変お世話に成っております。

この場をお借りし、在職中お世話に成りました皆様に感謝の念を申し上げます。



理事及び監事

- 理事長 飯山 幸雄
(社会福祉法人経営識見者)
- 常務理事 中島 昭
(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 多久島 耕治
(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 品川 卓正
(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 菅原 眞廣
(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 宮崎 牧子
(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 上原 淳
(施設管理者)
- 理事 小林 一己
(事業区域福祉実情者)
- 理事 岡本 勝巳
(施設管理者)
- 監事 鈴木 道生
(財務管理識見者)
- 監事 岩井 令雄
(社会福祉事業識見者)

評議員

- 評議員 古屋 正義
(地域福祉関係者)
- 評議員 小山 寿
(地域福祉関係者)
- 評議員 五十嵐 力平
(社会福祉事業関係者)
- 評議員 本山 美八郎
(社会福祉事業関係者)
- 評議員 田中 幸子
(地域福祉関係者)
- 評議員 川向 良和
(社会福祉事業関係者)
- 評議員 堀 茂
(社会福祉事業関係者)
- 評議員 岡橋 生幸
(学識経験者)
- 評議員 飯村 史恵
(学識経験者)
- 評議員 田中 康道
新任(地域福祉関係者)

2019年度事業報告

2020（令和2）年6月に行われた理事会・評議員会において、「2019年度事業報告」並びに「2019年度決算報告」が承認されましたのでお知らせいたします。

なお、本会の事業報告並びに決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを7ページから9ページのとおり紙上掲載いたします。

詳細をお知りになりたい方は、当会ホームページ並びに社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムでも公表されます。

法人事務局には「2019年度事業報告・決算報告書」がございますので、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。

平成から令和に元号が改められた2019年度の日本は、前年に引き続いて相次ぐ自然災害に襲われ、千曲川の堤防決壊をはじめとした多くの洪水被害や、千葉県を中心とした大規模な停電など各地で甚大な被害をもたらされました。一方では消費税率が8%から10%に引き上げられ、同時に軽減税率制度が導入されましたが本会においても増税のための支出が膨らみました。年度の終盤には、新型コロナウイルスの感染が全世界へと拡大し、各国では旅行制限や外出禁止令などの公衆衛生上の対応がとられたため急激な経済悪化が懸念されています。

わが国でも新型コロナウイルス感染症患者が発生・増加したところであり、本会においては感染予防に細心の注意を払うとともに、社会福祉という社会的役割から可能な限り事業運営を継続してまいりました。

経営状況については、介護や医療の人材不足の中で、人材確保のための投資及び高齢施設全体の稼働低迷などにより、法人全体の2019年度当期活動増減差額は8,587千円となったものの黒字幅は対前年度比で41,429千円の減少となりました。特に昭島病院については、地域のニーズに即した紹介患者の受け入れなどにより117,570千円の医療事業収益増となりましたが、病床稼働80%を目指した人材確保のための人件費や病院基幹システム更新に伴う減価償却費、保守料の増加などによる費用増が210,952千円にのぼったため、2019年度当期活動増減差額は145,871千円の赤字となりました。尚、第4四半期に限れば、病床稼働率80%を達成し、当期活動増減差額は17,263千円の黒字となっており、赤字脱却への兆しが見えてきました。今後も地元昭島市や医師会並びに関係福祉施設、地域医療機関等と連携し、超高齢社会における地域住民のさまざまなニーズにも応えられる医療機関を目指し、引き続き全力で収支改善に取り組んでまいります。

財務基盤の強化につきましては、安全で収益性の高い集合住宅賃貸事業開始に向けた準備を進め、半年間余りを費やした建築工事も完成まで残りわずかとなってまいりました。次年度からの収益は社会福祉事業の向上に役立ててまいります。

組織運営については、監事並びに外部会計監査人による定期的な監査の他、法人独自の内部検査体制の強化・充実を図るとともに、中長期計画の行動指針に基づいた適正な事業執行管理に努めました。

施設運営につきましては、食事サービスの向上を目指し、調理業務の直営化に向けた取り組みを始めるとともに、利用者への個別支援計画に基づいた適切なサービスの提供に努めました。

地域社会への取り組みについては、各事業所における「子育てや介護予防教室、健康サロンなどの各種の地域交流会」の開催、「生活困窮家庭のこども学習室」の運営等の社会貢献活動を行いながら地域のニーズに向き合ってきました。昭島地区では、昭島病院が東京都の災害拠点連携病院として地域の災害対応体制の強化に努めるとともに、施設間が連携した在宅高齢者ケアをはじめ、認知症の進行などによる一人暮らし困難者に対する包括的で継続的な支援等、地域包括ケアシステムの推進に努めました。

人材確保については、年度当初より新規学卒者などの採用を進めるとともに、ホームページの更新やSNSなどを活用して、法人の最新情報を求職者や内定者へ向けて積極的に発信し、新規に52名を採用することが出来ました。人材の育成につきましては、施設における虐待防止等の倫理教育や法人本部主催の階層別研修を実施したほか、各支援系グループにおいても、分野別の専門研修などを実施しました。さらにその確保・定着に向けた取り組みとして、非常勤職員からの正規雇用転換を積極的に促進してまいりました。

施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 理事長 飯山幸雄

同 援 だ よ り

2019年度 施設利用状況報告

2020年3月31日現在

グループ名	種 別	施 設 名	利用状況							職員配置状況				常勤換算			
			定員	利用者数 (3月実績)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	非常勤		職員数 合計		
								19年度	18年度	前年対比							
保育支援系施設	保 育 所	むさしの保育園	169	167	169.6	49,175	290	100.3%	103.9%	-3.6%	37	0	18	55	48.1		
		本園	140	141	143.1	41,495	290	102.2%	104.8%	-2.6%							
		方南分園	29	26	26.5	7,680	290	91.3%	99.7%	-8.4%							
				昭和郷保育園	100	116	116.3	33,741	290	116.3%	114.8%	1.5%	22	2	13	37	32.4
				大山保育園	130	128	129.1	37,445	290	99.3%	101.2%	-1.9%	26	1	15	42	34.8
				昭和郷第二保育園	190	199	197.3	57,203	290	103.8%	104.5%	-0.7%	32	6	20	58	49.4
				みなと保育園	63	63	62.4	18,103	290	99.1%	99.6%	-0.5%	16	1	7	24	22.0
				同援みどり保育園	125	129	129.1	37,434	290	103.3%	104.0%	-0.7%	25	3	15	43	37.3
				つつじが丘保育園	110	124	122.9	35,644	290	111.7%	116.8%	-5.1%	25	0	15	40	36.1
				同援さくら保育園	108	116	118.1	34,249	290	109.4%	108.3%	1.1%	27	1	27	55	40.3
				同援はいじま保育園	50	55	55.8	16,190	290	111.7%	110.5%	1.2%	10	1	12	23	18.7
				保育施設計	1,045	1,097	1,100.6	319,184	—	105.3%	106.6%	-1.3%	220	15	142	377	319.1
高齢者支援系施設	救護施設	昭島荘	100	99	99.1	36,254	366	99.1%	99.8%	-0.7%	34	4	11	49	46.8		
	養護老人ホーム	万世敬老園	200	176	181.0	66,263	366	90.5%	91.4%	-0.9%	20	8	17	45	41.6		
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,300	366	100.0%	100.0%	0.0%	10	6	6	22	18.5		
		小 計	350	325	330.1	120,817	—	94.3%	95.1%	-0.8%	64	18	34	116	106.9		
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	102.5	100.3	36,709	366	96.4%	96.9%	-0.5%	38	7	21	66	61.4		
		ニューフジホーム	104	99.1	98.1	35,915	366	94.4%	93.6%	0.8%	41	6	22	69	63.4		
		原町ホーム	52	53.4	51.8	18,969	366	99.7%	99.3%	0.4%	21	5	19	45	39.0		
		ゆたか苑	54	50.3	50.7	18,542	366	93.8%	94.6%	-0.8%	23	2	16	41	34.7		
		ひかり苑	54	52.2	53.1	19,426	366	98.3%	98.3%	0.0%	19	8	19	46	38.9		
		小 計 (介護施設)	368	357.5	354.0	129,561	—	96.2%	96.2%	0.0%	142	28	97	267	237.4		
	認知症対応型老人共同生活 援助事業 (グループホーム)	グループホームかえで	18	18.0	17.6	6,451	366	97.9%	97.3%	0.6%	2	8	9	19	16.5		
		原町グループホーム	18	18.0	17.3	6,348	366	96.4%	96.0%	0.4%	5	3	9	17	17.8		
	通所介護 (予防) 事業	フジ・デイサービスセンター	25	17.3	18.3	5,646	308	73.3%	75.9%	-2.6%	2	0	15	17	13.0		
		原町デイサービスセンター	12	4.5	4.1	1,247	305	34.1%	37.8%	-3.7%	1	0	8	9	6.8		
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	7.3	7.9	2,429	309	65.5%	62.5%	3.0%	1	3	5	9	6.9		
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	572件	24.1件	7,443件	308	—	—	—	10	0	0	10	10.4		
		昭島市中部地域包括支援センター あいぼっく	—	553件	24.2件	7,045件	291	—	—	—	3	0	4	7	5.9		
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	—	—	1,321	243	—	—	—	2	0	2	4	3.8		
原町ホーム		—	—	—	855	291	—	—	—	2	0	0	2	2.0			
ゆたか苑		—	—	—	789	240	—	—	—	3	0	0	3	3.0			
ひかり苑		—	—	—	353	240	—	—	—	1	0	0	1	1.0			
昭和郷		—	—	—	365	241	—	—	—	1	0	0	1	1.0			
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	22	22.3	8,172	366	89.3%	88.0%	1.3%	5	2	8	15	13.7			
	昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	19	16.1	5,885	366	64.3%	80.0%	-15.7%	3	6	7	16	13.9			
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	昭和郷訪問介護センター	—	25	16.8	7,179	366	—	—	—	6	2	5	13	11.4			
	小 計 (介護在宅)	135	131.1	120.4	47,040	—	—	—	—	47	24	72	143	127.1			
公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	さくらガーデン (サービス付き高齢者向け住宅)	49	45	44.8	16,412	366	91.5%	93.2%	-1.7%	1	0	11	12	6.3			
	高齢者施設計	902	858.6	849.3	313,830	—	92.6%	93.4%	-0.8%	254	70	214	538	477.7			

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

同 援 だ よ り

グループ名	種 別	施 設 名	利用状況							職員配置状況				常勤 換算			
			定員	利用者数 (3月実績)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	非常勤		職員数 合計		
								19年度	18年度	前年対比							
障害者支援施設	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	94.5	92.7	33,932	366	96.6%	96.3%	0.3%						
	障害福祉サービス (通所)	さやま園	生活介護	(96)	100	95.4	94.9	25,618	270	98.8%	99.1%	-0.3%	56	25	34	115	97.9
			短期入所	4		0.4	1.0	364	366	24.9%	24.3%	0.6%					
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	28.5	30.7	7,460	243	76.7%	76.7%	0.0%	30	2	2	34	33.6
			就労継続支援B	30		26.7	27.1	6,587	243	90.4%	93.3%	-2.9%					
		立川福祉作業所	生活介護	30	80	25.8	28.7	6,914	241	95.6%	89.0%	6.6%	12	4	12	28	23.7
			就労継続支援B	44		37.9	39.0	9,409	241	88.7%	96.3%	-7.6%					
			就労移行支援	6		4.7	5.4	1,298	241	89.8%	32.4%	57.4%					
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	28.4	28.1	6,799	242	93.7%	95.2%	-1.5%	12	6	10	28	25.2
			就労継続支援B	10		9.2	9.0	2,166	242	89.5%	98.9%	-9.4%					
			短期入所	2		0.3	0.3	102	366	13.9%	15.5%	-1.6%					
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		—	286	9.8	3,590	366	—	—	—	17	1	10	28	23.3	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		—	418	19.2	7,045	366	—	—	—	21	0	15	36	25.7	
	共同生活援助事業 (知的障害者 グループホーム)	アミニティ富士見		6	6	6.0	2,190	366	99.7%	100.0%	-0.3%	—	(1)	—	0	—	
		グリーンハイツ		6	6	5.5	2,018	366	91.9%	98.6%	-6.7%	—	(1)	—	0	—	
		フレンズ・モエ		4	4	4.0	1,464	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		パル		6	6	6.0	2,196	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		それいゆ小川		7	7	7.0	2,562	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘1		6	5	5.1	1,851	366	84.3%	100.0%	-15.7%	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘2		7	7	6.9	2,531	366	98.8%	100.0%	-1.2%	—	(1)	—	0	—	
		風のね		10	10	10.0	3,660	366	100.0%	100.0%	0.0%	5	2	5	12	—	
レヂオンス巣鴨			4	4	4.0	1,464	366	100.0%	97.9%	2.1%	—	(1)	—	0	—		
はなみずき			4	4	4.0	1,464	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
ユーカリ			4	4	4.0	1,464	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
夢オハナ			6	6	6.0	2,196	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
結オハナ			6	6	6.0	2,196	366	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
特定相談支援事業		さやま園		—	5	—	86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	立川福祉作業所		—	11	—	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	さくらんぼ		—	24	—	138	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
公益事業	豊島区西部障害支援センター		—	—	—	—	—	—	—	—	(2)	—	(2)	(4)	—		
障害者施設計			368	1,170.8	460.4	138,860	—	93.3%	93.6%	-0.3%	153	40	88	281	229.4		
児童・女性支援施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	16	18.5	6,753	366	92.3%	73.6%	18.7%	7	1	7	15	11.9	
		緊急一時保護事業		1	1	0.3	93	366	25.4%	33.4%	-8.0%						
		サンライズ万世		20	20	18.4	6,736	366	92.0%	92.0%	0.0%	10	1	4	15	11.9	
		緊急一時保護事業		2	2	0.4	135	366	18.4%	7.0%	11.4%						
	児童養護施設 (地域小規模) (地域小規模)	双葉園		50	50	47.5	17,901	366	97.8%	94.9%	2.9%	28	5	10	43	45.2	
		双葉園		(38)	(38)	36.9	13,519	366	97.2%	93.9%	3.3%						
		高嶋の家		(6)	(6)	6.0	2,196	366	100.0%	99.5%	0.5%	4	0	0	4		
		くすのき		(6)	(6)	6.0	2,186	366	99.5%	96.3%	3.2%	4	0	0	4		
	昭島市子どもトワイライトステイ事業		2	3	—	137	366	—	—	—	—	—	—	—			
	婦人保護施設	いこいの家		40	12	11.9	4,344	366	29.7%	29.4%	0.3%	9	3	2	14	12.9	
児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと		—	106	159.3	47,311	297	—	—	—	1	2	11	14	8.2		
児童・女性施設計			135	210	256.1	83,410	—	75.1%	71.0%	4.1%	63	12	34	109	90.1		
施設合計			2,450	3,336.4	2,666.4	855,284	—	96.4%	97.1%	-0.7%	690	137	478	1,305	1,116.3		
医療	病 院	昭島病院		199	13,261	550.1	166,327	366	—	—	—	191	11	118	320	252.3	
		入院		199	5,293	152.1	55,683	366	76.5%	69.3%	7.2%						
		外来		—	7,968	398.0	110,644	278	—	—	—						
	昭島病院訪問看護ステーション		—	294	12.4	3,226	261.0	—	—	—	4	1	2	7			
収益	印刷	事業局		—	—	—	—	—	—	—	14	1	0	15	15.0		
	不動産賃貸	不動産賃貸事業・病院駐車場事業		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計 (福祉施設 31、病院 1、事業局 1、その他事業 32)			2,649	16,891.4	3,228.9	1,024,837	—	—	—	—	899	150	598	1,647	1,383.6		



◆ 双葉園 ◆

双葉園は児童養護施設です。児童養護施設は、保護者のいない児童、虐待や様々な状況により環境上養護を必要とする児童を養護し、あわせて退所者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的としています。現在、児童養護施設で生活している東京都の児童数は約三〇〇〇人です。

施設のことを
知ってもらいたい

私は今、施設という所に住んでいます。くわしくは言えませんが私はそこに住んでいます。皆さんは誰しもが家族と暮らしていると思いますか？たぶんそれはちがいます。一緒に暮らしていない子どももいます。そのことを強く感じた体験が三つあります。

それは、私が一年生の給食の時施設の名前で馬鹿にして先生におこられた男の子がいました。その子は深く反省していましたが、そういうことのないように、皆に施設をちゃんと正しく知ってもらい

たいと考えました。

また私が四年生のころ、友だちと帰っているとその子が「いいなー施設で…」と言ったのです。それで私は「どうして施設がいいの？」と聞きました。そしたらその子は、こう言いました。「だってさーうちにはさーお母さん、いやだし、うざいんだもん。」と、私は心の中で、「お母さんが、いやだ？うざい？そんなのありえない！！」と思いました。

そして最後に、私は約六年お母さんと、お父さんに会っていません。今さっき紹介したように、お母さんがいやだと言っていたその子が本当に施設に来たら、その子はとても悲しくなるんじゃないかなと思いました。

皆さんは、外見だけで判断してはいますが中身をちゃんと見てください。軽い気持ちでお母さんの悪口や施設の名前で遊んでほしくありません。

最後に、私が言いたいのは、施設を本当に必要としているのは、家族とその家族の子どもが行く所かもしれないからです。

これを読んでくれた大人の皆様へこのご時世：新型コロナウィルスが流行している中で、休校や仕事が出来なくなったりで、ストレス

がたまっている中でこれを見ていただき誠にありがとうございます。最近、そのストレスで家庭内暴力があるとニュースで、前に見ました。私が申したいのは未来ある子ども達にそのストレスをあてないでください。家庭の事情とかであまりふみこむのはだめかもしれないませんが、どうか、未来のある子ども達にストレスをあてないでください。手遅れになる可能性があるのです：大人の皆さん、ご協力お願いします。

令和二年六月十二日（金）
中学一年 BOOKより

◆ ひかり苑 ◆

夕涼み会を開催して

来る令和二年七月二十八日ひかり苑恒例行事の夕涼み会を開催しました。今年にはコロナ禍の関係で開催自体も危ぶまれましたが、様々な行事や余暇活動が中止となる中で、毎年の夕涼み会を楽しみにしている利用者もいらしたため、それならばと各部署が協力して、感染予防に取り組みながら、出来る事を考えて開催することにしました。今年開始時間を早め、二部制にしたことで、密になる事



を避け時間と空間に余裕を持たせることが出来、結果感染予防に繋がりました。



昭和の縁日をテーマにして、夏の祭りの雰囲気を作るために創作活動クラブと協力して、提灯（風船に麻紐をボンド液につけて巻き付け乾かしランプシェード風の提灯になりました。）や手ぬぐい（玉ねぎの皮を調理からもらい、煮だして絞り、色から染め上げました。）を利用者と一緒に作り飾り付けました。郷愁的な思い出などを懐かしみながら、創作することで手作り感満載の昭和の夏祭りの空間を作る事ができました。

当日の出店は金魚すくい、風車屋、射的屋、お面屋、焼き鳥、たこ焼き、お汁粉、アイス、駄菓子、ビール、ジュースなどを苑長、副苑長、相談員、栄養士が屋台屋店主となって威勢のいい声はなかなか

か出せる状況ではないので、大きなジェスチャーとともに会場を盛り上げ利用者も大喜びでした。デイの利用者も時間をずらして参加して頂き、その後の換気や消毒を徹底しました。コロナ禍で交流は出来ませんでした。利用者家族も喜ばれていたと聞き、職員一同無事に開催出来てよかったですから思いました。

（李 記）



◆ 小茂根福祉園 ◆
新しい支援に向けて

新しい生活様式。新型コロナウイルスとともに日常生活を営むために求められているものです。

小茂根福祉園では緊急事態宣言が明けて以降、徹底した感染防止対策を実施したうえで通常通りの体制で利用者を受け入れて支援をしています。多くの利用者がそろった日常はやはり賑やかで楽しいものです。そんな中、七月にふたたび感染者が増加傾向に転じた時に自主的に登園を自粛される方がいらっしやいました。ご家族は「感染自体も怖いけど、うちの子が休むことで園での人の密度が少しでも下がれば。」とおっしゃってくださいました。ご本人はとても園のことが好きで、いつも行くのを楽しみにしている方です。その方が来る事が出来ないのは心苦しいですが、このような状況の中ではどのような判断が正解かはわかりません。

自粛されている間も電話で声を聴いたりしていましたが、それだけではやはり寂しいもの。ご家族と相談して、リモートで一緒に何かできないかという話になりました。そこで出てきた案は「ズーム」を使つての支援です。

朝の会では、一緒に点呼を取ります。音楽活動がある時は、リモートでつないで一緒に活動をしました。楽器を鳴らす活動ですが、利用者それぞれのリクエスト曲を流し、それに合わせて思い思いに楽

器を鳴らす。といった活動です。短い時間ではありましたが、ご家族からは生活リズムが作れたので良かったとおっしゃってくださいました。今はその方は毎日元気に通われています。現在は「ズーム」で支援をしている方はいませんが、新しい支援の形の一つを行えた出来事であつたと思います。

新しい生活様式が求められている時代には、当然新しい支援の形も求められていくものと思いません。新しい支援の形は、新しい技術の下でも見つかると思います。福祉分野に限らず、広く社会に目を向けて新しい支援につながる何かを常に探し続けていきたいと思

（関口 記）



資格取得の紹介

次の方々が資格取得しました。
日頃の業務に活かし、ご活躍を期待します。

【社会福祉士】
サンライズ万世 少年指導員 武田 佑太

【介護福祉士】
フジホーム 介護職員 星野 慧馬

ニューフジホーム 介護職員 鏡 孝浩
介護職員 高橋 明美

原町ホーム 介護職員 スペディバハリ サラソテイ

原町小規模多機能 居宅介護センター 介護職員 酒井 博司

ひかり苑 介護職員 森 有里

さやま園 生活支援員 長瀬 紗織
生活支援員 上岡 昇平
生活支援員 吉成 梓

【精神保健福祉士】
さやま園 生活支援員 長谷川 廉

さくらんぼ 生活支援員 保田 美咲

ご支援ありがとうございました(敬称略順不同)

ご 寄 付

◇植田妙子◇原医院 原みさ子◇
明治安田生命保険相互会社 立川
駅前営業部◇さやま園保護者会
会長 荒安明◇国際ソロプチミ
ト昭島 会長 河辺信子◇NPO
法人 タイガーマスク基金◇NPO
法人 ライツオンチルドレン◇マ
ツダドライサービス◇㈱辰巳商事
代表取締役 梶田秀光◇㈱食品
館新宿富久店 イトーヨーカ堂

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績に対し、次の方々が表
彰されました。
おめでとございます。

◎昭島市社会福祉協議会 会長感謝状
原町ホーム 園長 岡本 勝巳

◎東京都社会福祉協議会 会長表彰
さやま園 看護師 渡邊知加子

◎東京都社会福祉協議会 会長感謝状
さやま園 副園長 柿木 崇

生活支援員 西川 志江
生活支援員 小川 里美

後 援 会

◇平尾正二◇青木保之◇唯野信廣
◇高仲智子◇久野顕次郎◇鮫島恭
江◇細谷寛子◇幡野信子◇宮奈多
摩江◇伊藤彰浩◇ヘアパールおかも
と 岡本廣◇松田知子◇山内悦◇
肉の山高◇海老山◇侑まゆみ
書房 代表取締役 櫻岡ユリ◇お
しゃれの店 ひらまつ 平松秀治
◇㈱葉袋造園◇㈱増田コーポレー
ション◇㈱フソー 代表取締役
山田政宗◇㈱橋本工務店 代表取
締役 橋本誠一◇長崎公園ラジオ
体操会 代表 田村寿重◇侑新井
精肉店◇東新町二丁目町会 会長
三井久夫◇㈱豊明◇長崎三丁目
町会 会長 足立憲昭◇国立厨房
サービス◇創洋紙商事 代表
取締役 中屋守敏◇中村屋魚店◇
風間造園◇侑イナダオフィスサ
プライ◇㈱昭和造園◇㈱コスモス
医工◇唐沢電機◇㈱キタジマ◇
㈱五嶋造園 代表取締役 五嶋政
吉◇㈱相田土居設計◇侑リハビリ
サービス◇㈱金井商店 代表取締
役 金井 務◇昭島サンセルフ
高野裕志◇アーキベルク一級建築
事務所◇ネオ・ハルト

雑 感

今年には新型コロナウイルスによ
り日本中が新生活様式へと変化し
た。いわゆる『三密』を避け、不
要不急の外出を自粛し自宅を過
すことが多くなった。日々の買い
物すら回数も減らし、時間帯を考
えるようになった。当初は自宅で
過ごす時間も良いものだと感じて
いたものの、それが毎日になると
怠惰に過ごしてしまうこともある。
そこで、これまでと少しだけ考え
方を変えて、家事をほんの少しだ
け丁寧にしてみた。休日には簡素だ
た料理をいつもより時間をかけて、
少しだけ凝ってみる。普段聴かな
い音楽にあえて手を伸ばしてみる。
すると生活の中で少しだけ気持ち
に余裕が出てくるのを感じる。そ
の余裕を他の誰かのために使え
らと思う。(原町ホーム 浅見 記)

―表紙の写真―
「コキア ひたちなか海浜公園にて」
(企画部 南山京子氏)

令和二年十月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電 話 〇三(三三四)七六一
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会
発行者 飯山 幸雄
印刷所 東京都同胞援護会事業局
東京都墨田区両国 四一一八
<http://www.doen.jp/>

